

阿井地区校区別協議会だより

令和3年12月15日
第5号
阿井地区校区別協議会事務局

建設候補地について審議を重ねました。

10月5日(火)、第5回校区別協議会を開催しました。当日は、幼稚園・小学校の保護者の方を対象に実施した統合小学校建設候補地に関するアンケートの結果報告を行った後に、アンケート結果や、これまでに独自で収集を行った調査結果を踏まえたうえでの意見交換・協議を行い、町の提案内容に対して、阿井地区として同意するか否かの審議を行いました。



しかし、この日の審議だけでは充分な議論に基づいた結論が出せなかつたため、教育魅力課に対し、改めて提案内容の説明を要望し、10月17日(日)に第6回校区別協議会を開催し、教育魅力課からの説明、質疑応答を受けたうえで再審議を行いました。

述べ2日間にわたる長時間の審議の結果、阿井地区としては「町の提案内容に同意する」という結論に達し、10月22日(金)に、町に対して回答書の提出を行いました。

審議においては様々な議論が行われ、学校周辺施設に関する問題点(プールを三成公園プールで対応すること、体育館の規模)や、通学方法に関する問題等、町からの提案内容については必ずしも満足のいく内容では無い部分も多数ありましたが、阿井地区としては「多くの子供たちが集う統合小学校の整備」を最優先事項とし、現時点で考えうる様々な問題点については、引き続き町への要望事項として働きかけを継続することで方向性が定まりました。

今回の回答内容については、必ずしもすべての地域の皆様のご要望に沿うものではないかもしれません、子供たちにとって最善最良の方向性を総合的に判断した結果であることを理解頂ければ幸いです。



最新情報（12月3日現在）

去る12月3日(金)、仁多地域の校区別協議会臨時代表者会が開催されました。この中で勝田町長より「仁多地域については令和7年4月の再編が困難な状況である」との説明が行われました。主な理由として、現在の建設予定地に関して①各校区いずれも同意する、しないに関わらず改善要望があること、②町議会において、小学校建設予定地に関する特別委員会が設置された事などから、校区別協議会の意見を尊重しつつも、町全体で広く意見を伺った上で決定する必要があると判断されたためです。詳細につきましては次回発行予定の広報誌にて取り上げる予定としていますが、現時点では、小学校建設予定地は未確定です。

◇保護者代表分科会活動報告◇

保護者代表分科会では保護者を対象に『統合小学校の建設候補地に関するアンケート』を実施しました。結果は以下の通りです。

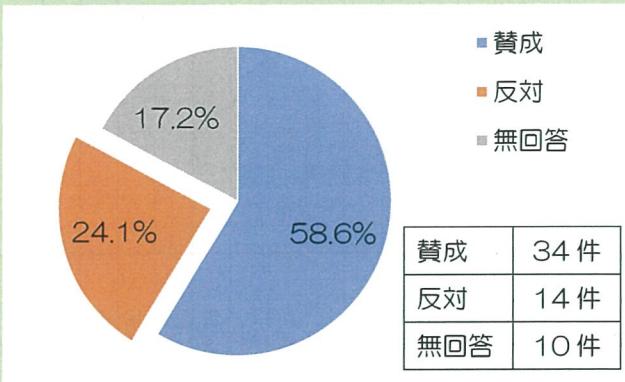
統合小学校の建設予定地に関するアンケート集計結果と分析



1. アンケート回答の状況

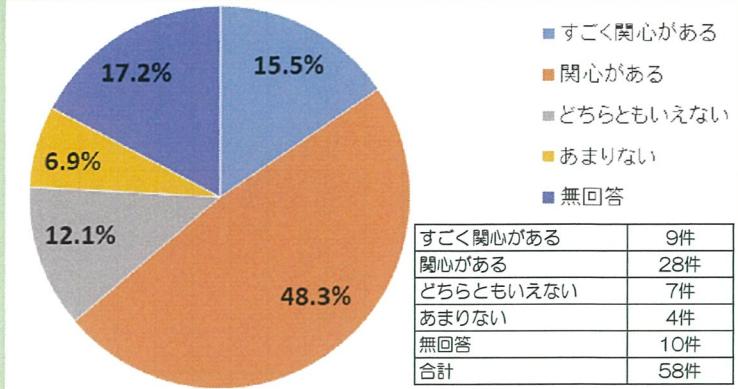
	配布部数	回収数	回収率
全体数	58	48	83%

3. 奥出雲町提案の現三成小学校敷地への統合小学校建設についてどう思われますか？

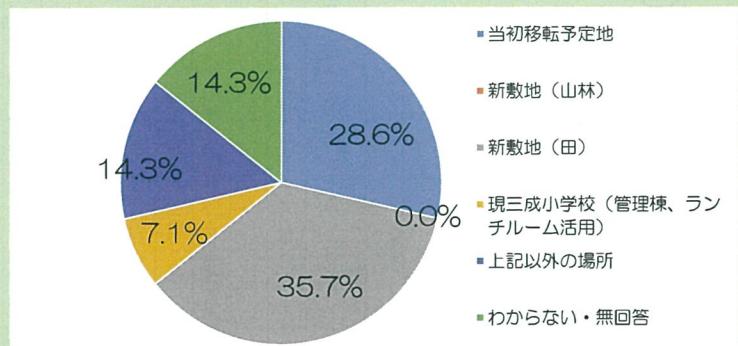


町提案の建設候補地（現三成小学校）

2. 統合小学校の建設予定地について関心がありますか？



4. 3で反対と回答された方にお聞きします。町提案の候補地（3現三成小学校敷地【体育館以外を新築】）以外であれば、どこがいいでしょうか？



上記以外の場所としての意見

- 横田・三成の間での新たな候補地を検討してほしい
- 耐震化工事の完了している阿井小学校や亀嵩小学校の増改築利用

◇地域代表分科会報告◇

小学校再編による地域への影響について、保護者代表分科会から見解を求められ、次の通り考え方をまとめました。

(1)小学校統合と地域衰退の関係性について

地方からの若者層の流出・少子高齢化は、今に始まったことではありません。これまで小学校では、ふるさと学習を盛んに取り入れ児童の郷土愛を育んできましたが、それでも人口減少の傾向は抑えられていないのが現状です。

したがって、小学校の有無が地域の衰退に与える影響については、ゼロとは言えませんが、小学校を存続することが決策につながるとは言えないと考えます。

地域の衰退については、小学校の統廃合の議論から切り離して対策を検討していく段階にあると考えます。

(2)地域交流活動の存続について

各地区の小学校のふるさと学習ということで言えば、統合小学校になったら少なくなる、もしくはなくなってしまうのは避けられないことです。

統合後のふるさと学習については、それぞれの地域のよさを生かせるような教育課程の編成、学習内容・方法の工夫ができるように、積極的に教育委員会（教育魅力課）に要望していくことが必要であると考えます。

